令和８年度

第１２回ビブリオバトル福島県大会
相双地区予選会 記録集



全国中学ビブリオバトル2025の
キービジュアルです
イラスト：爽々

福島県教育庁相双教育事務所総務社会教育課

中学生の部

（氏名五十音順）

氏　　名	所属校	書　　名	著者名	出版社名
佐藤　颯祐	鹿島中	※優秀賞 『あの夏が飽和する。』	カンザキイオリ	河出書房新社
関　　彩花	原町三中	※チャンプ本 『お探し物は図書室まで』	青山美智子	ポプラ社
土屋　結仁	原町二中	※準チャンプ本 『いたいのいたいの、とんでゆけ』	三　秋　縋	KADOKAWA （メディアワークス文庫）
八木沼 帆菜	ふたば未来学園中	※優秀賞 『西の魔女が死んだ』	梨木香歩	新潮社

高校生の部

氏　　名	所属校	書　　名	著　者　名	出版社名
草野　夏凛	原町高校	※準チャンプ本 『コンビ二人間』	村田　沙耶香	文藝春秋
渡部　和花	小高産業技術高校	※チャンプ本 『江戸川乱歩傑作選』	江戸川乱歩	新潮社



令和８年度

ビブリオバトル福島県相双地区予選会

～発表者感想編～

　先生のすすめがきっかけで大会に出場しました。
　発表しての感想は、強いて言うのであれば、とても緊張しましたが、こういった体験ができたという点で、素晴らしい発表ができたと思います。





　この本や作家さんをもっといろんな人に読んでもらって、一緒に語りたいと思ったので出場しました。
　練習中は「私なんかにできるのかな」と思っていました。ですが発表して自分なりの最善をつくせてよかったなと思ったし、また参加してみたいとも思いました。いい経験になりました。ありがとうございました。

　国語の先生に「ビブリオバトルに参加してみないか」とすすめられて大会に出場しようと思いました。
　大変緊張しましたが、自分の思いを皆さんに伝えることができてよかったと思います。



出場したきっかけは、姉が中学生のときにいわき地区大会に出場していたことと、私自身本が好きだからです。
私の大好きな一冊をみなさんに知ってもらえて、とてもうれしかったです。そして、みなさんから教えていただいた本も読んでみたいです。





出場したきっかけは、本が好きだからです。
会場の雰囲気がとてもよく、大好きな江戸川乱歩さんの作品を、たくさんの人に知ってもらうことができてよかったです。

もとからビブリオバトルに興味があり先生に誘われたのをきっかけにやってみようと思いました。
本を紹介しあう機会は中々ないので、このような大会で本を紹介することができてとても楽しかったです。
前に立った時、上まで人が座っている様子に思わず緊張しました。途中つまづく所もありましたが、最後までやりきることができてよかったです。



令和８年度

ビブリオバトル福島県相双地区予選会
～ボランティア感想編～



　ボランティアを通して、人前で話すことだけでなく、周りの様子を見ながら行動することが大切だと感じました。会場全体を見渡したり、時間を意識しながら進めたりするなど、司会はただ進行するだけではないことにも気づきました。昨年度よりも落ち着いて進行できたことも、自分の成長だと感じています。
　今回身につけた話す力や周りを見る力を、学校での発表や行事など、さまざまな場面で生かしていきたいです。

　昨年に引き続きボランティアに参加し、充実した時間を過ごすことができたと感じています。一人一人の発表から、本に対する想いや情熱が伝わり、胸を打たれました。このビブリオバトルに、ボランティアという形で関われたことがとても嬉しかったです。私自身本が好きで、特に図書館に行って読書をするのが小さい頃から大好きでした。その頃にビブリオバトルについて知り、楽しそうだと思いながらも、人前に立つハードルを感じてなかなか一歩踏み出すことができないでいました。ですが、高校1年の時にこのボランティアの募集を見て、これならできるかもしれないと応募することを決めました。
　今は、その決断をして本当に良かったと思っています。相双教育事務所の皆さんが、優しく丁寧にサポートしてくださり、司会進行という役目を務めることができました。また、発表者の皆さんの熱意のこもった発表を間近で聞き、自分の本が好きだという気持ちを再認識することもできました。
　これまでの活動で、本やビブリオバトルに関わる方法はたくさんあると分かりました。これからも、自分の本に対する思いを大切にしながら、関わり方を模索し続けていきたいと思います。
　様々な場面で支えてくださった相双教育事務所の方々や、素敵な発表をしてくださった発表者の皆さん、多くの来場者の方々、一緒に活動したボランティアのメンバーなど、関係者の皆様に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

　司会を任せていただきもっと緊張すると思っていましたが、運営の方々はとても親切で自分の満足いくような司会が出来ました。練習時間も多く設けていただき司会の方々と息を合わせて練習をすることができました。
　また本を読むということをあまりしない私ですがビブリオバトルを通して少し本を読んでみようかな？という気持ちになりました。
　来年もぜひボランティアをしたいと思いました。ありがとうございました。

　ビブリオバトルの司会を通して、人前で話すことの難しさや、内容を分かりやすく伝えることの大切さを学びました。
　また、本を紹介する人それぞれの考えや魅力を知ることができました。
　今回の経験を、これからの学校生活でも生かしていきたいです。

令和８年度

ビブリオバトル福島県相双地区予選会
～観戦者の皆さんからのメッセージ編～



　とても緊張したと思いますが、それぞれの本への愛がしっかり伝わる発表でした。表現も豊かで、聞いていて面白かったです。
　本を通して交流できる「ビブリオバトル」、たくさんの読書仲間を作るよい時間になっていたらいいな、と思います。
　お疲れ様でした！

　読書を通して、生徒の皆さんが励まされたり、自分とは何かを考えさせられたりしていると気づきました。本はそのときの自分の考え方を変えてくれるのだと思いました。ありがとうございました。

　６名の発表、とても素晴らしかったです。本離れする今、本のよさを伝えるではなく、「伝わる」説明ができていたことに、大人である私も感心してしまいました。

　たくさんの人の前で、自分の「好き」を発表することは緊張することだったと思います。
　間違えたり、忘れてしまったりして、慌てたところもあったでしょうが、それらすべてがよい経験になると思います。

　大変すばらしい発表をありがとうございました。読んでよかった本を色々な人に紹介してくれたことで、新しい本との出会いがある人もいると思います。
　市内の小中高生にぜひ聞いてもらいたいと思いました。

　それぞれの心に残った本への想いが伝わる時間でした。子どもたちの豊かな感性に触れることができ、嬉しかったです。

　今回、発表（おすすめ）してもらった本、実は読んだことがあったり、既にあらすじを知っていたりする作品がほとんどで、読みたくなる本を本当に選べるかな、と心配していました。ですが、全くの杞憂でした。
　もう一度、もしくはやっぱり読もうかな、と思わせてもらいました。
　お友達にも、ぜひ、読んでもらえるといいですね！

　自分があまり読まないジャンルの本を紹介していただけて、読みたい本が増えてとてもよかったです。
　これからもどんどん本を読んで、いい作品にたくさん出会ってください。





　皆さん堂々と発表してとてもよかったです。この経験を今後の学業や進路に活かしていっていただければと思います。

　素晴らしい本の紹介、ありがとうございました。未読の本はさっそく図書館で借りようと思いました。既読の本も、読んだ時の気持ちを思い出し、涙が出そうになりました。また来年も観に来ます。楽しみにしています。



　緊張したなかでも、皆さん一生懸命発表していて、その本が好きなんだ！という思いがとても伝わってきました。みんなの熱を受けて、どの本も読みたくなりました。

　みなさん素敵な発表でした。選んでいる本も「有名だけど、手に取るまでは…」というものばかりだったので、今日の発表を聞いて読んでみたいと思いました。

（鹿島中　佐藤さん）
　はやりものですね。１０代を引き付けるカンザキ作品の魅力、とても気になりました。

（原二中　土屋さん）
　プレゼンがすごくうまかったです！作品の軸となる不思議な能力設定が気になりました。

（原三中　関さん）
　話し方が自然で聞きやすかったです。ぐりとぐらの卵との出会いの考察、なるほどと思いました。

（ふたば未来中　八木沼さん）
　不登校の子がおばあちゃんのもとで自分を変えていく本作の魅力を的確に紹介していてよかったです。

（小高中　紺野さん）
　映像のみ、残念でした。物語ではない知識の本、はっきり力強い話し方、プレゼンの構成など、全部とてもよかったです。

（小高産業高校　渡部さん）
　気持ち悪さが魅力として伝わりました。時間が３０秒あまっていて残念。

（原町高校　草野さん）
　ふつうって何だろう、考え出すとはまりこむ題材ですね。気になる作品です。



　素敵な発表をありがとうございました。皆さんが読書を楽しまれているのが、とても嬉しいです。バトルなので、一人だけを選びましたが、どの作品も手に取りたいと思いました。

　たくさん準備と練習をされたと思います。素敵な発表をありがとうございました。

　落ち着いた雰囲気の発表者の方が多い大会でしたが、本に対する情熱が伝わってきました。



　みなさん、すばらしい発表ありがとうございました。紹介された本はどれも面白そうで、読んでみたくなりました。
　これからも読書に親しんで、豊かな人間性を育んでほしいです。

　どの作品も読みたくなりました。発表の仕方も工夫が見られてよかったです。

　お休みだった中学生の発表（練習風景）がとてもよかったです。
　少し型にはまりすぎなので、もっと自由に話してもよいと思います。
　文学以外でもよいので、選書の幅を広げてほしいです。

　当日参加できなかった方も含めて、皆よい発表でした。



　発表された学生さんたちの本に対する熱意が伝わりました。「お探し物は図書室まで」年齢関係なくおすすめということで、ぜひ読んでみたいと思いました。

　私が学生の時に読んだ『西の魔女が死んだ』を今の中学生も読んでいると知ることができ、うれしい気持ちになりました。
　当日に参加するのが難しくなった紺野さんの動画を見て、熱心に練習をして、紹介している姿を見て、ぜひ『わけあって絶滅しました』も読んでみたくなりました。
　堂々と発表していた６人のみなさん、素晴らしかったです！

　素敵な発表をありがとうございました。皆さんが読書を楽しまれているのが、とても嬉しいです。バトルなので、一人だけを選びましたが、どの作品も手に取りたいと思いました。





　みなさんの「本が好き！」という想いをたくさん浴びることのできた時間でした。本を読む理由は十人十色だと思いますが、人生を豊かにする営みだなあと改めて感じました。ありがとうございました。

　限られた時間の中で本を読み、発表内容を考え、それを覚えるのは大変なことだと思います。それに取り組んだ皆さんは、素晴らしいと思います。これからもよい本に出会って、自身の糧としていくことを願っています。

　どの生徒の発表も堂々として素敵な発表でした。気になった本は読んでみたいと思います。ありがとうございました。



　参加者全員、お疲れ様でした。本好きの皆さんの熱い思いを聞くことができました。ありがとうございました。
　準備期間が短い中で発表、たいへんだったと思います。気になった本、読んでみたいと思います。

　まさかこの本をビブリオバトルで見ることができるなんて！とワクワクしながら拝聴させていただきました。
　どの発表も素敵で、本のジャンルも幅広く、今後時間をかけてでも全ての本を読みたくなりました。

　みなさんたくさん練習してきたんだろうなと感じました。一生懸命発表する姿がすてきでした。



（中学生の皆さんへ）
　どの方も練習を重ねてこられて今日を迎えたのが伝わってきました。質問への答え方も一生懸命さが感じられました。ご紹介いただいた本を、ぜひ読んでみたいです。

（高校生の皆さんへ）
　お二人とも表情豊かに心からの「本愛」を語ってくださったと感じました。今のご自分としての作品の受け止め方に、みずみずしい感性を感じました。お二人からもっと他の本についてのお話も伺いたいと思いました。

　どの発表者の皆さんも、この本のことを伝えたいという気持ちが伝わってきて、素晴らしかったと思います。知らない本にとても興味がわきましたし、知っている本は知っている本で共感したり、なるほどこんな風に思うのか、と新しい発見がありました。これからも色々なジャンルのたくさんの本に出会って、本を読む面白さを味わってほしいと思います。
　自分を振り返ってみても、一番読書をしていたのは中高生の頃かなと思います。これからも読書を通して、心豊かな時間を過ごしてください。

　初めて参加しました。本をすすめることが難しいなと思っていて、学生さんたちを参考に私も誰かにすすめてみたいなと思いました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

　どの発表も素晴らしかったです。今後とも本に親しんでください。

　素敵な時間をありがとうございました。とても楽しかったです。

　緊張したかと思いますが、皆さんの発表すばらしかったです。お疲れ様でした！

　５分間でその本のよさを発表するって、すごく難しいことです。たくさん読んで、たくさん練習したのでしょう。その頑張りに拍手を送ります。
　これからも本との出逢いを大事にして、ステキな人生を歩んでください。ありがとうございました。

　読んでみたくなる本、もう1度読み返したくなる本がたくさんありました。
　やむを得ない事情で参加できなかった小高中の紺野さんの発表を生で聞いてみたかったです。きっと投票していただろうなと思う内容で本当に残念です。

　読んだことのある本も、ない本も、楽しく聞くことができました。とても緊張するだろうことが分かりますが、自分なりに一生懸命発表する姿にいつも心うたれます。楽しかったです。お疲れ様でした。
　これからもい人生を支える一冊に出会ってください。



第12回

令和8年度ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト 情報発信プロジェクト
東日本大震災子ども支援基金事業

ビブリオバトル福島県大会相双地区予選会
発表参加者（中学生・高校生）大募集！

日時 令和８年９月１９日（土）13:00～
※申込者多数の場合、午前中に予備予選を実施する場合があります。

会場 南相馬市民情報交流センター
〒975-0004 福島県南相馬市原町区旭町２丁目７－１

発表参加者 参加費無料
７月31日（金）〆切

各校から１名参加できます！
地区チャンプ本（中学生の部１名、高校生の部１名）は、県大会に推薦します。
（10/3(土)県立図書館）

主催：福島県教育委員会

観戦者 ボランティアも 同時募集！



全国中学ビブリオバトル 2025 のキービジュアルです
イラスト：爽々

～ビブリオバトルとは～

本の紹介
　コミュニケーションゲーム
1. 本を選ぶ
2. 発表する（５分）
3. 議論する（２～３分）
4. チャンプ本を選ぶ

※　詳しくは２次元コードへ

あなたの１票でチャンプ本が決まる！（観戦者）

どなたでも参加可能です！ぜひご参加ください！（ただし、投票には条件があります。）
一緒にビブリオバトルを盛り上げませんか！進行・受付等の運営ボランティアを募集します！
※実施要項を参照の上、下記の二次元バーコードからお申し込みください。

【問い合わせ先】福島県教育庁相双教育事務所（担当：伊藤）
〒975-0031　南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:0244-26-1315
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

観戦者用　ボランティア用

